

# 観光王国みやぎおもてなし大賞について

## 1 趣旨

「観光王国みやぎおもてなし大賞」は、観光の振興及び地域経済の活性化に貢献し、その功績が顕著であった個人及び団体を表彰することによって、「観光王国みやぎ」の実現に向けて、観光事業者の意識啓発・意欲向上を図るとともに、宮城県全体の「おもてなし」の充実につなげていくことを目的として、平成26年度に創設したものの。

## 2 募集・選考

- (1) 募集期間：平成26年11月4日～平成26年12月5日
- (2) 応募件数：21件（自薦又は市町村や団体からの推薦）
- (3) 選考方法：平成26年12月25日開催の「観光王国みやぎおもてなし大賞表彰選考会議」（選考委員名簿は裏面参照）により選考
- (4) 選考結果：大賞1件，奨励賞6件，選考委員特別賞1件を決定

大賞：観光による地域活性化のモデルとなる特に優秀な取組
奨励賞：観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組
選考委員特別賞：基本的な取組となるが、他地域でも容易に実施でき、効果や普及が期待できる取組

## 3 受賞者（敬称略）

### (1) 観光王国みやぎおもてなし大賞

受賞者	取組名／評価のポイント
南三陸町地域観光復興協議会 （南三陸町）	【「南三陸てん店まっぷ」を活用した取組】 「南三陸てん店まっぷ」の作製は、基本的小おもてなしの取組であるが、集客に苦戦していた町内各地に点在する商店と復興支援として商店を訪れたい観光客の双方のニーズを丁寧にくみ取り、適確に対応した質の高い取組である。継続的な取組により、誘客につながっており、観光客の評判もよい。観光による地域活性化のモデルとなる特に優秀な取組である。

### (2) 観光王国みやぎおもてなし大賞奨励賞

受賞者	取組名／評価のポイント
秋保温泉旅館組合 （仙台市）	【おもてなし日本一の温泉郷を目指した「誘客とおもてなし」向上の取組】 秋保地区の観光資源の掘り起こしやその素材を活かして工夫した企画を実施することで活性化を図っている。また、宿泊施設のスタッフによるおもてなしコンテストを実施するなど人材育成を積極的に行うとともに、地域一体となって取り組んでおり、観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組である。
一般社団法人 チガノウラカゼ コミュニティ （多賀城市）	【松島湾地域の「湾の水」を基盤としたツーリズムの取組】 地域の資源を活用して、ストーリー性のある体験型のツアーを企画・実施している。また、地元のケーブルテレビで自ら企画・出演して地域資源を紹介し、関係団体等とも連携して広く認知されるよう工夫して取り組んでおり、観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組である。
一般社団法人 登米市観光物産 協会（登米市）	【みやぎの明治村を代表する「ハイカラさん」による観光案内などの取組】 おもてなし推進員を設置し、観光地の雰囲気合わせた衣装で案内を行うなど工夫した取組を行っている。また、実地研修やおもてなし研修会を開催するなど人材育成にも努めており、観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組である。

東北風土マラソン&フェスティバル実行委員会（登米市）	【フルマラソンと物産展等の同時開催による「まちおこしまラソン」の取組】 スポーツと地元の食材を活かしたイベントを同時開催し、地域の方々がボランティアに携わるなど地域住民参加型のイベントとして実施している。また、沿岸部を含めた周辺の市町とも連携した物産展を開催し、希望者には被災地を案内するなど、広域的なイベントとして工夫して取り組んでおり、観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組である。
おくの細道松島海道（松島町）	【松尾芭蕉体験紀行のボランティアガイドとしての取組】 文学作品「奥の細道」について、勉強会や研修会などを精力的に継続して実施し、ボランティアガイドの育成に尽力している。また、近隣の市町や他の団体とも交流を深めるなど相互に共有を図りながら広域的な案内役を目指して取り組んでおり、観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組である。
南三陸復興市実行委員会（南三陸町）	【東日本大震災からの地域産業の復興・交流人口再生の取組】 地域の食材を活かしたイベントをテーマを変えながら継続して実施し、開催日を固定化することでリピーターや全国から多くのボランティアに参加いただくなど工夫して開催している。また、地元の若い世代と一緒に実施することで、イベントのノウハウや経験、人的ネットワークを継承することができ、実践を通じた人材育成を図るなど、地域づくりにもつながる取組であり、観光による地域活性化のモデルとなる優秀な取組である。

### （3） 観光王国みやぎおもてなし大賞選考委員特別賞

受賞者	取組名／評価のポイント
秋保工芸の里事業組合（仙台市）	【観光案内所を活用したPRや外国人に対する「秋保らしさ」「工芸の里らしさ」を重視した取組】 観光案内所を新たに設置し、秋保地区の工芸品の展示や各工房への誘客に結びつくよう外国人観光客にわかりやすい英文表記で体験方法を紹介するなど工夫している。外国人観光客が楽しく分かりやすく観光できる環境を整えるその取組は、基本のおもてなしであるが、着実に外国人観光客の誘致につなげており、震災後半減している外国人観光客の回復に向けて、他の地域でも容易に実施することができ、効果や普及が期待できる取組である。

## 4 表彰式

- (1) 日 時 平成27年1月28日（水）午後3時から  
(2) 場 所 県行政庁舎4階 特別会議室 ※知事から賞状、記念品を授与

## 5 今後の対応

今回の表彰については、団体等の名称とともに、その取組を県ホームページで紹介、PR予定。

（参考）観光王国みやぎおもてなし大賞表彰選考会議委員名簿

	役 職	氏 名	所 属
1	宮城県ホテル旅館生活衛生同業組合理事長	佐藤 勘三郎	(株)ホテル佐勘代表取締役
2	宮城県商工会議所連合会常任幹事	間庭 洋	仙台商工会議所専務理事
3	みやぎおかみ会幹事	橘 眞紀子	(有)岩沼屋ホテル専務取締役
4	一般社団法人日本旅行業協会東北支部長（JATA）	石垣 隆久	(株)日本旅行東北代表取締役社長
5	学識経験者（東北大学）	堀切川 一男	東北大学大学院工学研究科教授
6	学識経験者（宮城大学）	宮原 育子	宮城大学事業構想学部事業計画学科教授
7	学識経験者（宮城学院女子大学）	J.F.モリス	宮城学院女子大学国際文化学科教授
8	宮城県経済商工観光部長	犬飼 章	—